

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26 年 11 月 6 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100348		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム 花咲楼		
所在地	広島市東区尾長東2丁目6-34 (電話) 082-568-7007		
自己評価作成日	平成26年10月9日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100348-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100348-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成26年11月4日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

比較的元気な方が多く生き生きと生活していただけるようにレクリエーションを中心に満足していただけるように心がけています。また洗濯物を干したり畳んでいただき、役割を持っていただいています。1日1回でも笑っていただけるように支援しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

このホームでは、利用者が笑って過ごせるように職員も笑顔で接するように努めており、利用者は職員と和気あいあいと過ごしている。ホーム内の歩行訓練も職員の発案で「宮島街道の地名」を明記し、毎日の達成度を記録している。ここでは、利用者の能力を生かせる役割を決め実践していただいております。今後は利用者に外出レクの企画をしていただくことも検討している。また、法人主催の夏祭り、敬老会やクリスマス会には家族も参加して一緒に楽しんで頂いており、また少し遠くへの外出レクも増やす予定である。このホームでは、看取りを行なう方針であり、主治医・看護師・職員が協力して看取りを行った事例がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所理念「相手本位の心」に基づき、相手を否定することなく安心して介助させて頂けるように努めています。	事業所理念「相手本位の心」を設定し、職員が見えるようにロッカールームに掲示して職員に周知するよう努めている。	事業所理念を職員へ周知させることがまだ不十分であるように思われる。今後は職員会議や申し送りなどで職員と一緒に理念について学び、共有する努力を行って頂きたい。また、理念に沿った年間行動目標を立てて実施することも検討し事業所の質の向上に取り組むことを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎年夏に祭りを開催し、ボランティアや地域住民の方に参加して頂き、地域との交流を築いています。また保育園の行事に参加、広島市内の展覧会等に出席する予定です。	法人主催の夏祭りには、地域住民、利用者や家族も参加し交流している。また、近隣の保育園からは定期的な訪問があり、利用者と一緒にレクを楽しんだり、運動会の見学に行っている。町内会に加入し集まりにも出席しているが、清掃活動などには参加していない。今後は町内会活動にも関りたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	施設付近に住まわれている方への認知症理解と施設について自宅にご挨拶しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	実際・評価について意見を述べていただき、より質の高いサービスを提供出来るように速やかに対応出来るように心がけています。	運営推進会議は定期的開催されており毎回家族が出席している。会議では、ホームの状況報告と家族の要望について意見交換している。	会議には、家族の参加はあるが、行政関係者、地域住民が出席していない。今後は、地域包括支援センターや地域住民代表と連絡を取って出席を要請し、活発な意見交換の場として頂きたい。なお、会議議事録は記録に残し家族に公表することも望まれる。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	会社全体では市町担当者と連絡を取り合っているが施設として日々のケアサービスに向けて不十分である。運営推進会議などを通じてより根強い物にしていきたい。	市との連絡は、法人事務局が行っており、市主催の職員研修についての質問等も事務局を通じて行っている。今後は、地域包括支援センターとの連絡については、事業所が行ないたいと考えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関には電子ロックを設置しております。その他については拘束等一切行っておりません。</p>	<p>身体拘束に関する研修は法人主催で行なわれ、職員が参加している。また、虐待・拘束に関するマニュアルを新たに作成し、今後は職員に周知させていく予定である。事業所前の交通量が多く、安全確保のため玄関の施錠を行なっている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員等は虐待の理解をし、その人らしさを提供出来るように心がけています。拘束・虐待への疑いがある場合は上司・ご家族様・本人と連携し速やかに対応を行います。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>社内研修にて後見人制度について勉強する機会があるも、自主的に参加していない現状です。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、契約後の日々の状態に変化等あればすぐに連絡をしております。またその際に説明を行い理解を図っています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱を設置し気軽に意見を述べていただける環境を築いています。いただいた意見には速やかに対応しております。</p>	<p>家族の要望・意見は、家族の訪問時や運営推進会議で聞いている。ホームには意見箱を設置し、出された意見については回答し対応している。ホームの行事では、参加した家族に食事を提供し、食事に対する意見を聞いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員が自発的に代表者・管理者へ意見や提案を述べています。また個別にて提案の場を設けております。	月1回の職員会議で職員の意見を聞いている。職員の提案により、外出レクを企画し実行している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員にあった勤務形態を提供し職場にて過ごしやすい環境作りを築いています。職員のよりがいを見出せるように個人面談を行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	会社では月1回社内研修があり、各々が参加するように心がけています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内研修に外部の方を招く事で、情報交換を行っています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前から本人様やご家族様・病院等と連携を取っております。環境の変化に戸惑われると思いますので出来る限り理解し、対応することで信頼して頂けるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>在宅・病院での状況を把握し、入居される思いを受けとめています。初期の段階から電話連絡等をこまめにすることでお互いの関係を築いて行くように心がけています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ケアマネージャーと連携を取り、他のサービスが必要かどうかを検討し本人様の負担を軽減出来るように努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>出来る事は本人様にやっています。また施設内でレクリエーション等を通じて職員を含む他者との交流の機会を設けております。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会の重要性についてご家族様にお話しております。面会に来て頂く事で現在の状況の把握してもらい、お互いが良い関係を築いています。面会に来られないご家族様については電話連絡等で状況を説明しております。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>友人等が面会に来られる際はご家族様に連絡していただき許可を取って貰っています。</p>	<p>今までのかかりつけ医に受診したいとの要望で、家族が付き添い受診を継続している利用者もいる。また、今年度は利用者の家族や知人への年賀状を職員が手伝い、投函する予定である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	居室に籠りがちにならないようにフロアへ声かけ誘導を行っています。またフロアにてコミュニケーションを取る事で楽しい場所という認識をして頂けるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	管理者に就任して退去した方がおりません。しかしフォロー等今後については行えるように努めていきます。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様、ご家族様と職員全体がコミュニケーションを取る事でご意見や要望については出来る限り実現できるように努力しております。	利用者の思いや意向は、アセスメントに記載し、新しい情報は随時更新している。職員が日常会話から把握した利用者の要望はケース記録に記載し、職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居された際に、今まで使用していた家具等を持ってきていただき、新しい環境に慣れて頂くように配慮しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員等が観察や記録を行い、何かある際は管理者へ報告し対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	月に1度ユニット事に職員等で集まりカンファレンスを行う事でその人にあった介護計画を作成しております。	利用者毎に担当者を決め、ケアプランの実施状況を記録している。モニタリングについては、計画作成者は担当者に状況を確認し、他の職員の意見も参考にしてモニタリングとしてまとめている。その後、ケアカンファレンスで職員の意見を聞きケアプランの変更を行っている。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	ケース記録にて個別記録を行っています。申し送りや連絡ノートにて情報共有を行っています。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	マッサージ等が必要な場合は外部に依頼しております。また往診にて内科に協力していただき、その方の状態に合わせて、歯科・耳鼻科と連携しております。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	曙保育園との連携、地域の美容室にて出張散髪を行っております。また散歩の合間に買い物等も行っております。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	現在、かかりつけ医より受診が必要と判断された場合、ご家族様に通院をお願いしています。しかし遠方の方や都合の合わない方はスタッフが対応しております。必要に応じた通院介助を行っております。	入所時に、本人・家族の要望を聞きかかりつけ医を決めている。大多数の利用者がホーム協力医を受診しており、医師は2週間に1回往診し利用者の健康状況を把握している。また、看護師は主治医と連絡を取り対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎朝バイタルチェックを行い、必要に応じて看護師と連携を取っております。また緊急の場合は管理者へ報告しております。かかりつけ医、看護師と連携し対応しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された方はおりません。しかし入院された場合はご家族様が安心して対応出来るようにスタッフ一同で対応し、早期治療に役立てるようにします。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	6月に終末期の対応をさせていただきました。その際にもご家族様やかかりつけ医、看護師と連携する事でご家族様にも安心して状態に当たることが出来ました。夜間に見守る形になり現場職員とも情報を共有する事で、迅速な対応が行えました。	入所時に、終末期における本人・家族の要望を聞き、「重度化した際の指針」について説明を行なっている。ホームとしては看取りを行なう方針であり、利用者が重度化した際には、家族・医師と何度も話し合いを行い、適切な対応を行なっている。今までに看取りの事例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時は職員で判断せずに看護師へ連絡。看護師から管理者へ報告しております。しかし各職員に初期対応を定期的には行えていませんがご利用者様に対してその都度起こり得る対応の仕方を口頭にて行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に消防訓練等はあるものの、緊急時に避難先などあまり説明できておらず、不十分です。	消防署の立会いの下に、消火について学び、防災センターで行なわれる研修に職員が参加し勉強している。	利用者の安全のために、災害に対する備えは重要と考えられる。今後は、消防署と相談し、夜間を想定した避難訓練を利用者と一緒に行うなど避難訓練を実際に行い、不備な点を確認して頂きたい。なお、災害時における避難誘導経路や出口に通じる扉の開閉機器の取り扱いなども職員に周知し災害に備えて頂きたい。



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	意味無く居室には入らない、また排泄時にADL等が安定している方については席を外しております。	利用者を尊重するような言葉使いをするように職員と取り組んでいる。また、入浴や排泄時のプライバシーが確保できるように配慮している。	「人格の尊重」「プライバシーの確保」について法人で研修を行なっているが、職員が参加出来ていない状況である。今後は、事業所で研修を行い、職員に理解を深めて頂き、事業所内で必要な改善策について意見交換を行いサービス向上に取り組んでいただきたい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	レクリエーションをする際はその方に合ったレクリエーションを提供し無理なく行えるように心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	タイムスケジュールはありますが、その方に無理なく過ごしていただけるように、希望を確認し対応しております。悩んでいるご利用者様がいらっしゃれば、業務の手を止め対話をしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月に1度、美容師の方が来られ散髪を行っています。男性の方は髭を剃るのが難しい方はこちらで対応し、女性の方は化粧をしていただいております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は配食センターより配達していただいております。朝食はパンと御飯に分かれており、ご本人様に判断していただき提供しております。	献立は予め作成されているが、時には利用者と一緒にホットケーキを作ったり、誕生会ではケーキ作りをするなど楽しんでいる。今後は利用者と一緒に食事についてもっと検討したいと考えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食分量、水分量共に摂取量が少ない方には声かけを行い、水分は摂取していただく回数を増やす事に対応しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、必ず口腔ケアの誘導の声かけを行っています。今田歯科と連携を取り必要に応じて対応していただいています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>オムツの着用を少なくするために、トイレに座っていただけるように声かけしております。排泄パターンを把握し、職員が声掛け誘導を行っています。</p>	<p>出来るだけトイレで排泄するように声かけ、トイレ誘導を行っている。トイレ誘導の声かけを頻繁に行なうことにより、リハビリパンツ使用から布パンツに改善された事例がある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便コントロールが出来るように、水分補給していただいております。下腹部に張りがある場合はマッサージをしたりトイレ誘導を行います。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の時間帯は日中に行っており、やはり制限があるのが現状です。しかし日中であれば時間帯等はお利用者様に合わせて楽しんでいただいております。</p>	<p>利用者の要望により入浴時間を決め、出来るだけ同性介助するようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	消灯時間は21時ですが、その都 度ご利用者様の状況に応じて調 整しております。巡回時は起きな いように配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	服薬時は日付、名前を確認し提 供する前にご本人様の目の前で 名前、日付を確認し服薬してい ただいております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	洗濯物を畳む、干すなどの作業 に役割を持って生活されている 方もいらっしゃいます。歌が好 きな方が多いため合唱したり、 その方々に合わせて対応してい ます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	近場の公園に行ったり、ご家族 様と外食されております。しか し遠方へ外出することが実行出 来ておらず、10月末に広島城 へ外出支援を行えるよう計画し ております。	気分転換のために天気の良い日 は近くの公園に散歩に行くよう にしているが、事業所近辺の交 通量が多いため、頻回に出かけ られない状況である。時には、 散歩の途中で利用者の希望で 買い物をすることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	現在、個人でお金を持っている 事はありません。しかしご家族 様から小口現金という形でお預 かりしており、散歩等でお金 を出る際には何か購入していただ いたり、要望があれば職員が購 入しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	来年度は年賀状をご利用者様へ書いて頂く予定です。またご家族様とご連絡が取れるようにご利用者様自ら電話できる環境を築いております。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	定期的に清掃しており、清潔感を保っております。また気温に応じて室内の温度を調整するなど配慮しております。	館内を清潔に保つように毎日清掃を行っている。また、クリスマスやひな祭りなど季節の行事の飾り付けをし利用者に楽しんでもらっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブル、ソファを用意し、ご利用者様同士や職員と話す場合はテーブルを囲い、独りになられる場合はソファで新聞を読んだり落ち着いた環境を提供しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居して頂く際にはご自宅で使われていた家具等を積極的に持ってきていただけるように心がけています。訴え等が合った場合はご家族様と相談し安心できる環境を築けるように心がけております。	利用者が慣れ親しんだ家具を持ち込み居心地よく過ごせるように配慮している。利用者の中には、趣味の民謡を楽しむためにラジカセやカセットテープを持ち込む方もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室やトイレの位置は分かりやすいように名前を表示しております。また判断が難しいご利用者様に対しては声かけ等で経路を説明しております。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム花咲楼

作成日 平成26年11月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議に行政関係者が参加していない。	包括職員の参加及び、情報交換。また町内会の自治体の方にも参加していただく。	包括センターへ足を運び、事情や今後について相談する。町内会出席時に協力を仰ぐ。	12月運営推進会議まで。
2	13	災害対策について全体の把握が出来ていない。	決められた回数ではなく、定期的に消防訓練を行う。	消防署へ足を運び、訓練を行っていただく。	12月に実地予定
3	14	理念の周知及び、職員の研修への参加	介護理念について把握出来るように目のつく場所への配置、そして質の向上のための研修参加	理念を含め、より介護の事を知って頂くため、社内研修に定期的に参加していただく。	年間
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。